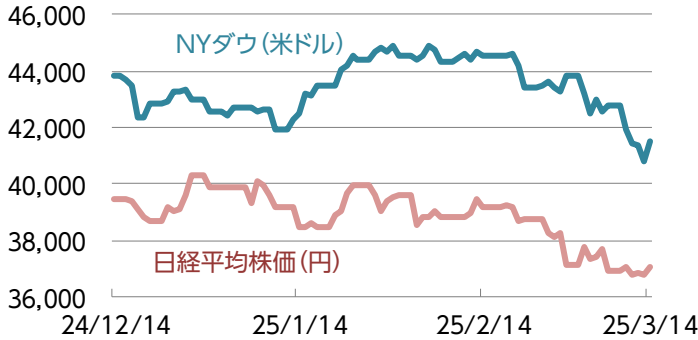


■先週の市場の動き

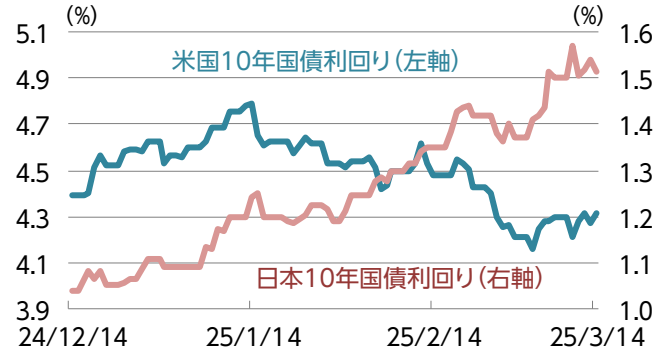
米国株式は下落。トランプ米大統領が関税引き上げなどによる景気後退の可能性を否定しなかったことや、米国とカナダの報復関税の応酬による米景気悪化懸念から売りが強まった。米ハイテク株などに買戻しが入る場面があったものの、13日にトランプ米大統領がEU(欧州連合)から輸入するワインやシャンパンなどへの追加関税を課す考えを示したことで、貿易摩擦が強まるとの見方も重荷となった。

■株式市場



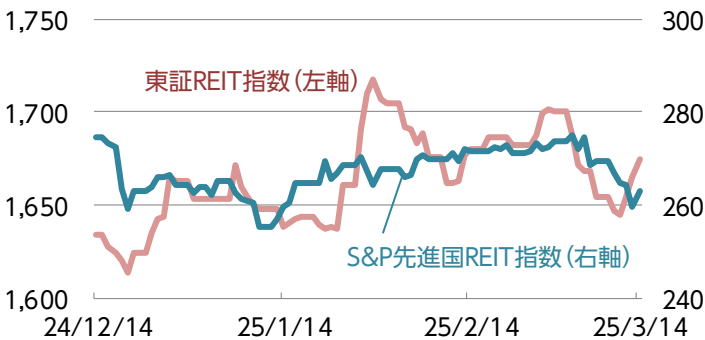
日経平均株価は上昇。半導体株に押し目買いが入ったほか、下落が続いたことによる割安感から上昇した。円安・米ドル高の進行も買い材料となった。

■債券市場



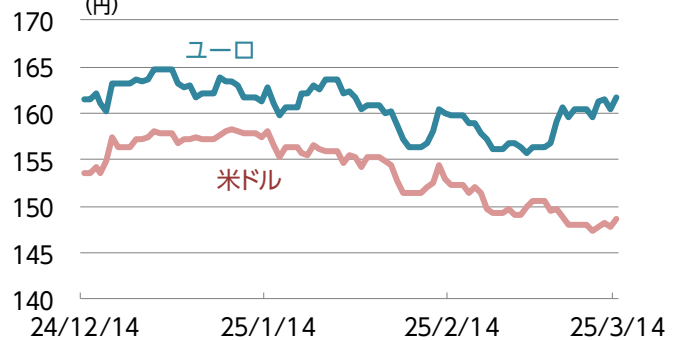
日本の10年国債利回りは上昇。日銀総裁の発言を受けて利上げ継続が意識された。米10年国債利回りは上昇。FRB(米連邦準備理事会)議長が利下げに慎重な姿勢を示したほか、関税による米インフレ再燃が懸念された。

■REIT市場



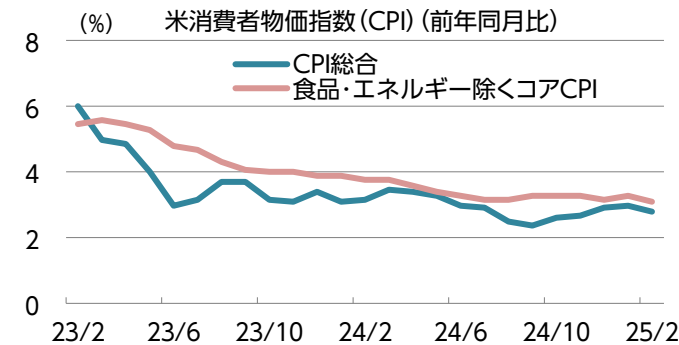
国内は上昇。下落基調であったため割安感に着目した買いが優勢だった。国内株式が上昇したことも支えとなった。海外は下落。

■為替市場(米ドル/円、ユーロ/円)



米ドル/円は上昇。米政権の関税政策が同国の物価の高止まりを招くとの見方や、持ち高調整から円売り・米ドル買いが優勢だった。ユーロ/円は上昇。

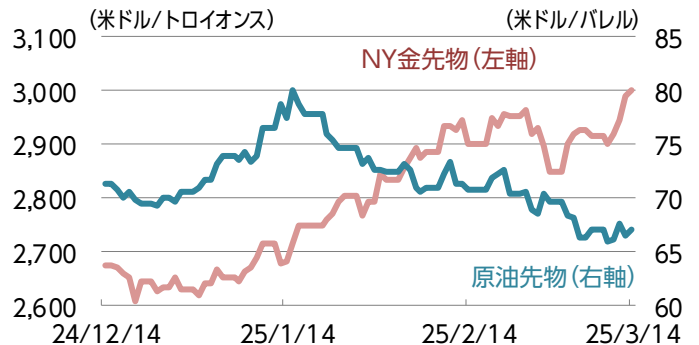
■経済指標グラフ



前年同月比+2.8%、5カ月ぶりに伸びは鈍化。前月比は+0.2%、1月(+0.5%)から伸びは縮小。コア指数は同+3.1%(前月+3.3%)、2021年4月以来の小幅な伸び。

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

■コモディティ市場



原油は上昇。米石油製品の在庫減少や、米国のロシアとイランに対する制裁強化で両国の生産が減るとの観測から買われた。金は3,000米ドル台と過去最高値を更新。米ドルが対主要通貨で下落したことや、リスク回避姿勢から買われた。

※原油先物はニューヨーク・マーカンタイル取引所 WTI先物価格

■主要指数の動き

	先週末 3/14	騰落率		
		1週間	1カ月	3カ月
日経平均株価	37,053.10	0.45%	▲5.35%	▲6.12%
TOPIX	2,715.85	0.27%	▲1.57%	▲1.12%
JPX日経インデックス400	24,569.73	0.37%	▲1.30%	▲1.31%
米国 NYダウ	41,488.19	▲3.07%	▲6.86%	▲5.34%
米国 S&P500指数(米ドルベース)	5,638.94	▲2.27%	▲7.78%	▲6.81%
フィラデルフィア半導体株指数	4,598.79	▲0.67%	▲10.89%	▲10.70%
株式 米国 ナスダック総合指数	17,754.09	▲2.43%	▲11.35%	▲10.90%
英国 FTSE100	8,632.33	▲0.55%	▲1.15%	4.00%
ドイツ DAX	22,986.82	▲0.10%	2.10%	12.65%
欧州 STOXX600	546.60	▲1.22%	▲1.05%	5.84%
香港 ハンセン指数	23,959.98	▲1.12%	5.92%	19.97%
中国 上海総合	3,419.56	1.39%	2.18%	0.82%
インド S&P BSEセンセックス指数	73,828.91	▲0.68%	▲2.78%	▲10.11%
ブラジル ボベスパ	128,957.09	3.14%	0.58%	3.49%
債券 日本10年国債利回り	1.515%	0.015	0.165	0.475
米国10年国債利回り	4.312%	0.011	▲0.164	▲0.085
ドイツ10年国債利回り	2.876%	0.040	0.445	0.619
その他 東証REIT指数(配当なし)	1,674.69	1.24%	▲0.31%	2.45%
S&P先進国REIT指数	263.15	▲2.33%	▲3.13%	▲4.22%
NY金先物	3,001.10	2.99%	3.46%	12.16%
原油先物	67.18	0.21%	▲5.03%	▲5.77%

	先週末 3/14	変化率		
		1週間	1カ月	3カ月
為替 レート (対円)				
米ドル	148.64	0.41%	▲2.41%	▲3.26%
ユーロ	161.69	0.83%	1.16%	0.20%
英ポンド	192.28	0.52%	0.31%	▲0.83%
豪ドル	94.00	0.69%	▲2.84%	▲3.86%
カナダ・ドル	103.46	0.47%	▲3.70%	▲4.17%
ノルウェー・クローネ	13.96	2.39%	1.92%	1.21%
ブラジル・レアル	25.89	1.22%	▲3.11%	1.78%
香港ドル	19.12	0.37%	▲2.26%	▲3.21%
シンガポール・ドル	111.38	0.16%	▲2.07%	▲2.22%
中国・人民元	20.52	0.47%	▲2.21%	▲2.88%
インド・ルピー	1.71	0.70%	▲2.67%	▲5.85%
インドネシア・ルピア	0.91	0.04%	▲3.01%	▲5.28%
トルコ・リラ	4.06	0.09%	▲3.40%	▲7.50%
南アフリカ・ランド	8.17	0.84%	▲1.37%	▲4.87%
メキシコ・ペソ	7.46	2.00%	▲0.54%	▲2.33%

※先週末休場の市場は直近値
 ※国債の騰落率は利回りの変化幅
 ※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし
 ※NY金先物は1トロイオンス当たりの米ドル建価格
 ※原油先物は1バレル当たりの米ドル建価格(WTI先物価格)
 ※インドネシア・ルピアは100通貨単位での表示

■主要経済指標

<国内>

毎月勤労統計調査(1月)	実質賃金は前年同月比▲1.8%。12月(同+0.3%)から一転減少
景気ウォッチャー調査(2月)	現状判断指数は前月比▲3.0ポイントの45.6。2カ月連続の低下。低気温や物価高の影響
家計調査(1月)	消費支出は前年同月比+0.8%、2カ月連続の増加も市場予想を大幅に下回る
実質GDP成長率(10-12月期、2次速報)	前期比+0.6%(年率+2.2%)、速報値から下方修正。個人消費、在庫が下振れ
企業物価指数(2月)	前年同月比+4.0%。前月比は横ばい。電気・ガス代への補助金が再開

<米国>

雇用動態調査(JOLTS)(1月)	非農業部門求人件数は前月から+23.2万件的774万件。市場予想を上回る
消費者物価指数(2月)	前年同月比+2.8%、5カ月ぶりに伸びは鈍化。コア指数は同+3.1%(前月+3.3%)に縮小
生産者物価指数(2月)	前年同月比+3.2%、前月(+3.7%)から伸びは縮小。前月比は横ばい
消費者信頼感指数(3月、ミシガン大調べ)	前月から▲6.8ポイントの57.9。先行きの期待インフレ率は上昇

■今後の焦点

日付	イベント
3/17	中国 工業生産指数(1-2月)
3/17	中国 小売売上高(1-2月)
3/17	中国 固定資産投資(1-2月)
3/17	米国 小売売上高(2月)
3/18	米国 鉱工業生産指数(2月)
3/18	米国 住宅着工件数(2月)
3/19	日本 訪日外客数(2月)
3/19	日本 コア機械受注(船舶・電力を除く民需)(1月)
3/19	日本 貿易統計(2月)
3/19	日本 日銀金融政策決定会合の結果発表
3/19	中国 10-12月期決算発表(テンセント)
3/19	米国 FOMC(米連邦公開市場委員会)結果発表

日付	イベント
3/20	中国 最優遇貸出金利(LPR)(3月)
3/20	英国 BOE(英中央銀行)金融政策委員会結果発表
3/20	米国 中古住宅販売件数(2月)
3/21	日本 全国消費者物価指数(2月)
3/24	欧州 ユーロ圏総合PMI(購買担当者指数)(3月)
3/24	米国 製造業PMI(3月)
3/25	米国 消費者信頼感指数※(3月)
3/25	米国 新築住宅販売件数(2月)
3/26	英国 英国消費者物価指数(2月)
3/26	米国 耐久財受注額(2月)
3/28	日本 東京都区部消費者物価指数(3月)
3/28	米国 個人消費支出デフレーター(2月)

GDP: 国内総生産
 コア指数: 食品、エネルギーを除いた指数
 ※米コンファレンス・ボード調べ
 (信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【投資に関する留意事項】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債など値動きのある有価証券等を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

投資信託にご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

1. 購入時に直接ご負担いただく費用 (1) 購入時手数料 上限 3.85%(税込) (2) 信託財産留保額 上限 0.1%

2. 換金時に直接ご負担いただく費用 (1) 信託財産留保額 上限 0.5%

3. 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 (1) 信託報酬 上限年率 2.09%(税込、概算)

※ファンド・オブ・ファンズ形式の場合は、一部を除き、投資信託が投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。

※一部の投資信託および投資信託証券には運用実績等に基づき計算される成功報酬額が別途かかる場合があります。この場合、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合がありますが、成功報酬額は運用実績等により変動するため、上限額等を事前に表示することができません。

4. その他費用 (1) 上記以外に投資信託の保有期間等に応じてご負担いただく費用(*)があります。これらの費用は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等を事前に表示することができません。

(*) 監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資信託証券の解約に伴う信託財産留保額、および投資信託が実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等

上記の費用の合計額については、お客様が投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に表示することができません。

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友トラスト・アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率(作成日現在)を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

◆設定・運用は



三井住友トラスト・アセットマネジメント

商 号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
加 入 協 会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。